

患者説明文書

研究課題名:全国胆道癌の後方視的観察研究

1.研究の対象

2014年1月~2025年12月に当院で胆道癌(肝門部領域胆管癌、遠位胆管癌、胆嚢癌、十二指腸乳頭部癌)と診断された方

2.研究目的・方法・研究期間

本邦における胆道癌(肝門部領域胆管癌、遠位胆管癌、胆嚢癌、十二指腸乳頭部癌)症例の疫学調査を行うことにより、これを基に胆道癌取扱い規約の改訂とともに国際対癌連合(The Union for International Cancer Control, 略して UICC)が提案した TNM 分類と病期分類の検証を行い、胆道癌に関する研究ならびに診療の進歩・知識の普及を図ります。カルテに記載された情報を全国から集めて研究します。研究期間は、2029年12月31日までです。

本研究は日本肝胆膵外科学会の資金で行われており、企業との利益相反はありません。

3.研究に用いる試料・情報の種類

癌の進行度や治療法などのカルテ情報のみを個人が分からないようにして提供します。

4.外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5.一宮市立市民病院における研究責任者および研究代表者：

一宮市立市民病院 外科診療局長 阪井 満

共同研究機関：日本肝胆膵外科学会胆道癌登録病院 528 機関

藤田医科大学消化器外科ホームページに掲載(予定)

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名:全国胆道癌の後方視的観察研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会および一宮市立市民病院の臨床研究審査小委員会で審査され、それぞれ学長および院長の許可を得て実施しています。

1.研究の対象

2014年1月~2025年12月に当院で胆道癌(肝門部領域胆管癌、遠位胆管癌、胆嚢癌、十二指腸乳頭部癌)と診断された方

2.研究目的・方法・研究期間 本邦における胆道癌(肝門部領域胆管癌、遠位胆管癌、胆嚢癌、十二指腸乳頭部癌)

症例の疫学調査を行うことにより、これを基に胆道癌取扱い規約の改訂とともに国際対癌連合(The Union for International Cancer Control, 略して UICC)が提案した TNM 分類と病期分類の検証を行い、胆道癌に関する研究ならびに診療の進歩・知識の普及を図ります。カルテに記載された情報を全国から集めて研究します。研究期間は、2035年12月31日までとなります。

本研究は日本肝胆膵外科学会の資金で行われており、企業との利益相反はありません。

3.研究に用いる試料・情報の種類

癌の進行度や治療法などのカルテ情報のみを個人が分からないようにして提供します。

4.外部への試料・情報の提供 データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5.当院における研究責任者:

一宮市立市民病院 外科診療局長 阪井 満